



むら せ ひと し  
**村瀬 旬**  
(至誠)

保健福祉  
環境

### 無痛分娩の助成金と富士宮市立病院において 無痛分娩を行うことの調査、研究について

**問** 富士宮市立病院では行っていないが他市において、行った人数はわかるか。

**部長** 現状、把握していない。

**問** 母子健康手帳を交付された方に助成金制度があれば、または富士宮市立病院で可能ならば利用するかアンケートをとったらいかがか。

**部長** 市民に過度な期待と混乱を招くので行わない。

**問** 無痛分娩を行うには特別な資格等必要か。

**病院長** 産婦人科専門医師、  
麻酔科専門医師、無痛分娩研  
修修了助産師など十分に確保  
している必要がある。



### 富士宮市立永代供養墓地、樹木葬墓地の建設について

**問** 富士宮市には朝霧霊園に広大な用地があるが全体と空き地区間の面積はそれぞれの位か。

**部長** 全体として4万8291㎡、使用していない面積は約1万8000㎡ある。

**問** 視察に行った、他市の建設費用、構造、大きさ等はいかがか。

**部長** 島田市が墓地500区画と納骨堂約16㎡で1億3500万円、静岡市は納骨堂約342㎡で約2億円、富士市は納骨堂ではないが88㎡で6200万円とのこと。富士宮市としては今後も引き続き検討をしていく。



▲朝霧霊園平面図



うす い ゆ き こ  
**臼井 由紀子**  
(富岳会)

保健福祉

### 協議体について

**問** 地区社会福祉協議会との関係は。

**部長** 各地区社協の役員の方には第2層協議体委員をお願いしているので連携が強化されていると考える。一例をあげると第2層協議体の検討を経て試験的に開始した上野地区での社会福祉法人による買物支援である。

**問** 圏域の変更はないのか。

**部長** 令和4年度に地域の特性に応じて第2層協議体ごとに検討する方針が決定。その結果大宮西地区と芝川地区は地域課題の違いから2つの協議体に分かれた。年度ごと円滑な運営方法を模索する中で、今後も必要に応じて圏域を変える可能性はある。

**問** 協議体を総合事業へつなげることへの進展は。

**部長** 令和3年度以降ゴミ出し支援や移動支援買物支援などを検討した結果、具体的な支援の実施につながった。これらの支援のサービスAによる委託や住民主体によるサービスBでの補助金という方法を取らずに実現された。今後、総合事業につないでいく必要があるものについては検討、実施を行っていく。



### 年末年始の市民の安心安全を守るために

**問** 年末年始の医療機関への受診状況を伺う。

**部長** 今年度までの6年間で最多の1740人の受診者数。本市の救急医療センターの診療体制は先生方の話し合いにより検査キットによる検査は行わず、短時間で診察までを終わらせるという方針。周知の部分で誤解を招くような情報不足があったと反省し、改良していきたい。